

2009年

5月24日(日曜日) - 本市の未来づくりの夢も背負っていただいて 「京丹後市母子寡婦福祉会総会」 -

本日、京丹後市母子寡婦福祉会の本年度総会が盛会に開催されました。日ごろから金久会長様はじめ役員、会員の皆様には、様々なお取り組みにより本市の母子寡婦福祉の向上にご尽力をいただいております、心より敬意を申し上げます。

本市としてまちづくりの大きな柱に、支え合い、たすけ合い、与えあい、ともに生きる共生のまちづくり、誰一人として決して置きざりにならない、市民全員兄弟姉妹のまちづくりを掲げまい進しておるところですが、現下の大変厳しい経済社会状況において多少ならず住民生活や様々なご活動に大きな影響が及ぼされざるをえない中で、支え合い、たすけ合いの福祉のまちづくりがますます必要とされています。

そして、その中で忘れてはいけない大切なことは、本市にとって少子高齢化の中でいかににぎわいのあるまちづくりを再興していくことができるか、少子化を克服し子どもたちがにぎわうまちづくりを進めていくことができるか、が今ますます問われていますが、ひとり親、寡婦家庭の皆様には、厳しい社会経済環境いかんにかかわらず自ら子育てに献身をされることで、はかるはからずかかわらず、若者でにぎわう本市の未来づくり、本市の未来開拓への夢も懸命に背負っていただいているわけであり、その意味で、二重三重に感謝を深くしなければなりません。

そんな中で、本市では昨年度、京都府下で先陣をきって、「ひとり親家庭等自立促進計画」を策定いたしました。今後とも、子育て支援、就業支援、情報提供・相談体制の整備などの取組みを計画的に着実に推進していくこととしております。ひとり親、寡婦の皆様の思いをしっかりと受け止めさせていただくとともに、皆様と願いや夢を精一杯に共有させていただき、ご支援に懸命に尽くしていきたいと思っております。